

学校だより



笑顔いっぱいあふれる学校

～自ら学び、人や社会とつながり、
未来を切り拓く子どもの育成～

御所市立葛城小学校

2023年2月24日発行 No.12

発行者 清水 博幸

※育みたい5つの力（か…学力、つ…つながる力、ら…未来に向く力、き…きまりを守る力、さん…参画する力）

★人権集会

2月14日に人権集会がありました。子どもたちは1年間を振り返って、学級目標を達成するために自分が何をがんばったかを発表しました。

みんなでいっしょにチャレンジクラス（1年）

えがお、げんきもりもりパワー、やさしくつたえる、しっぴいしてもつぎがんばる、げんきいっぱい（2年）

Smile!Happy!Nice!（3年）

14人でOne Team～一人一人の個性をたいせつにできる・互いの思いを受け止め、優しくできる・協力しあいごまでやりとげる4年生～（4年）

自分たちで考えよう、思いを受け止め合おう～友だちのためにクラスのために～（5年）

周りをよく見て行動する。愛のあふれる明るく賑やかな教室、楽しめず挑戦、楽しく頼られる6年生（6年）

それぞれの学年の学級目標です。どのクラス目標も一年間通してがんばる値打ちのある目標でした。目標をつくって終わりではなく、それを点検し、来年につなげていく、とても貴重な時間になりました。

★えがおいっぴいの木

児童玄関のかべにある「えがおいっぴいの木」。学校目標「笑顔いっぱいあふれる学校」づくりのために、自分には何ができるのか考えて作った目標への振り返りが、今いっぱい貼られています。

「友だちに優しくできた」「けんかをしないようにがんばった」「人の話をしっかり聞いた」「自分からあいさつができた」「意見をうまく伝えられた」「相手のことを考えた」などたくさん書かれていました。

子どもたちの言葉を見て、笑顔いっぴいの学校をつくるためには、自分の意見をしっかり言うことと、相手の意見をしっかり聞くことが大切なんだとわかりました。そして学校の役割は勉強はもちろんですが、共にすごすことで人とうまく関わる力を身につけることだとあらためて思いました。



えがおいっぴいの木

★ふれあいスクールミーティング



真剣に聴いています

2月6日、東川御所市長が学校を訪れ、5・6年生の児童と直接語り合う「ふれあいスクールミーティング」がありました。市長の熱い語り子どもたちは圧倒されている様子でした。ちょうどその日は小殿の下の工場が火事になった日で、お話の途中で消防サイレンが聞こえました。市長がすぐに秘書さんに場所の確認や対応など矢継ぎ早に指示を発する姿を目の当たりにして、「かっこよかった」と言っている子もいました。

後日、子どもたちが書いたお手紙を市長にお渡ししました。市長はとても喜んでおられました。